



教科書検討の観点	「小学道徳 生きる力」の内容の特色	主な関連ページ
<b>1 教育基本法及び学校教育法との関連</b>		
教育基本法に示された教育の目標に適合しているか。	●教育基本法第二条に示された教育の目標に基づき、広い知識と教養、豊かな情操と道徳心、伝統と文化を大切にすること、自己を見つめ社会を創造する高い公共の精神を育むため、多様な教材が選択されるとともに、構成が工夫されている。	【全学年】 全教材を通して
同法第二条【第一号】幅広い知識と教養を身に付け、真理を求め、態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健康な身体を養うこと。	●教材で扱う題材は、 <b>発達の段階</b> をふまえながら、家庭、学校、社会の幅広い分野のものがバランスよく採用されている。標準時数外の教材で、本文教材の補充または家庭学習用として、学校の実態に応じて、児童が主体的に適宜活用できるような教材が用意されているのも効果的である。 ●「問題解決的な学習」や「体験的な学習」などの手法を用いた効果的な展開の様子を写真とともに示し、「児童のこれまでの多様な実践活動を生かし」ながら学びを実現するための工夫が示されている。 ●コラム「心のベンチ」は、教材で示される主題などをより <b>多面的・多角的</b> に考えることができるよう、教材と関連づけながら適宜配置されている。 ●道徳科の意義や学び方などを、発達の段階に応じてわかりやすく示し、学習内容にスムーズに入っていけるよう、各学年冒頭には「道徳のとびら」、「道徳の学び方」というオリエンテーションページが配置されている。	【全学年】 全教材を通して 巻末ふろく教材 【全学年】 ぐっと深める 【全学年】 心のベンチ 【全学年】 p.2～5 道徳のとびら、道徳の学び方
【第二号】個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	●「自ら信じることに従って、自律的に判断し、実行することの大切さ」、「自己の行為の結果には責任が伴う」ことをふまえながら、自分自身の持ち味について考え、よりよい方向へ伸ばし、磨きをかけていく、 <b>自己肯定感</b> の向上につながる教材が配置されている。 ● <b>人権の尊重という観点から、「いじめ問題」</b> が重点的に取り上げられ、 <b>複数教材とコラムを組み合わせたユニット</b> として構成され、集中的に考えられるように配慮されている。 ●発達の段階に合わせて、さまざまな職業を取り上げ、勤労の尊さについて、多面的・多角的に考えられるよう、キャリア教育につながる教材が適切に取り上げられている。	【1年】 p.118 あなたってどんな人？ 【2年】 p.74 りえさんのよいところ 【3年】 p.26 きいてるかい オルタ 【4年】 p.124 つくればいいでしょ 【5年】 p.14 マンガ家 手塚治虫 【6年】 p.6 それじゃ、ダメじゃん など 【全学年】 「人との関わり」ユニット 【キャリア教育】 【1年】 p.128 120 てんのそうじ 【2年】 p.142 森のゆうびん屋さん 【3年】 p.116 水族館ではたらく 【4年】 p.42 いのりの手 【5年】 p.96 父の仕事 【6年】 p.50 ウイルスとの戦い -父にエールを- など
【第三号】正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	● <b>人権尊重</b> の観点から、多様性を尊重し、あらゆる差別や偏見をなくし、公正で公平な社会の実現に積極的に努めようとする心を育て、人との関わり大切さについて考えられる教材が配置されている。 ●「いじめ問題」についても、これらの観点から重点的に扱われている。 ●自分も <b>社会の一員</b> であるという自覚を深め、互いに積極的に協力し合おうとする意欲を育てるための教材が工夫されている。	【1年】 p.116 ふたりだけで 【2年】 p.38 三びきは友だち 【3年】 p.86 同じなかまだから 【4年】 p.96 いじりといじめ 【5年】 p.76 名前のない手紙 【6年】 p.142 わたしのせいじゃない など 【1年】 p.8 たのしいがっこう 【2年】 p.66 おじさんからの手紙 【3年】 p.64 学級しようかい 【4年】 p.60 ぼくの草取り体験 【5年】 p.32 サタデーグループ 【6年】 p.158 消えた本 など

教科書検討の観点	「小学道徳 生きる力」の内容の特色	主な関連ページ
【第四号】生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	●生命について、より多面的・多角的に考えられる教材を通して、 <b>生命の尊さ</b> を理解し、かけがえのない生命を尊重することについてより深く学ぶことができるよう配慮されている。 ● <b>自然</b> に親しんだ経験をもとにその大切さを感じとったり、自然のもつ美しさやすばらしさ、そして脅威について知ったりすることを通じて、自然に対して謙虚に向き合うことの大切さを理解できるようにしている。 ●自ら <b>環境保全</b> の活動に参加するなどして、自分のできる範囲で貢献しようとする態度を育成するような教材が選定されている。	【1年】 p.28 うまれたてのいのち 【1年】 p.34 つばめ 【2年】 p.6 大きくなったね 【2年】 p.34 虫が大きい -アンリ・ファール- 【3年】 p.6 いのちのまつり ヌチヌグスージ 【3年】 p.60 ごめんね、サルビアさん 【4年】 p.30 あなたの時間にいのちをふきこめば 【4年】 p.130 聞かせて、君の声を！ 【5年】 p.24 「命」 【5年】 p.36 ひとつみ十年 【6年】 p.32 緑の闘士 -ワンガリ・マータイ- 【6年】 p.102 その思いを受けついで など
【第五号】伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	●家庭や学校を取り巻く郷土に関心をもつとともに、我が国や郷土に受け継がれる <b>伝統と文化</b> に親しむことを通じて、そのすばらしさや大切さを実感し、我が国や郷土の発展に寄与していく責務について考えることのできる教材が選定されている。 ●国際的な視野に立ち、日本人としての自覚をしっかりとって <b>国際理解</b> に努める意思を育む教材が用意され、他の地域や国がもつ独自の文化や伝統、歴史を尊重しようとする態度、 <b>平和な国際社会</b> の実現に向けて国際親善を進めようとする態度を養おうと工夫されている。	【伝統・文化教育】 【1年】 p.44 にっぽんのおかし 【2年】 p.48 ぎおんまつり 【3年】 p.50 ふろしき 【4年】 p.170 浮世絵-海をわたったジャパン・ブルー- 【5年】 p.60 和太鼓調べ 【6年】 p.82 天下の名城をよみがえらせる -姫路城- など 【国際理解教育】 【1年】 p.38 がっこうへいくとき 【2年】 p.54 タヒチからの友だち 【3年】 p.56 同じ小学校でも 【4年】 p.18 プルラッシュ 【5年】 p.136 マインツからの便り 【6年】 p.98 エルトゥールル号-日本とトルコのつながり- など
学校教育法に示された目標に適合しているか。	【学校教育法 第三十条第二項】 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。	
(1) 基礎的な知識及び技能を習得させるための工夫はあるか。	●学年の始まりに、道徳を学習することの意義やその内容について理解するオリエンテーションページが設けられている。 ●教材冒頭の「キーワード」では、児童にわかりやすい言葉で学習内容の手がかりが示され、児童が見通しをもって学習に向かうための工夫がされている。 ●巻末の「学習内容一覧」に主題を示すことで、一回一回の授業でねらいが達成できるよう配慮されている。 ●コラム「心のベンチ」では、教材に関連する素材が提供され、多面的・多角的な思考を促そうと工夫されている。	【全学年】 道徳のとびら 【全学年】 全教材冒頭の「キーワード」 【全学年】 巻末の「学習内容一覧」 【全学年】 心のベンチ

## 教科書検討の観点から見た内容の特色②



教科書検討の観点	「小学道徳 生きる力」の内容の特色	主な関連ページ
(2) 基礎的な知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力を高めるための工夫はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年、複数の教材で「ぐっと深める」が設定され、問題解決的な学習や体験的な学習、また特別活動等の多様な実践活動を生かした学習の手法を取り入れた授業展開例について解説されており、それぞれの授業過程の中で、自分の考えを深めたり、友達と話し合ったり、人にわかりやすく発表したりする学習活動が、適切に示唆されている。</li> <li>上記のような活動例が写真や挿絵によって示されている。</li> </ul>	<p><b>全学年</b> ぐっと深める (※各学年目次の教材名の下に、マークが付いています。)</p> <p>後記2. (4)「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)への配慮」(本書 p.40、43)を参照してください。</p>
(3) 主体的に学習に取り組む態度を養うための工夫はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童を主体的な学びに導くため、文学作品からスポーツ、芸術、身近な生活場面まで、多岐にわたる主題が取り上げられ、興味・関心をもって学習に取り組めるような教材が採用されている。</li> <li>また、すべての教材に、「導入の発問例」、「考えてみよう(=教材のねらいに迫るヒントとなる中心発問例)」、「見つめよう・生かそう(=学習を通して学んだこと、わかったことを自発的に確かめ、今後の生き方に生かしていくための発問例)」、の3つの発問例が示され、児童が主体的に学習を進められるよう工夫されている。</li> <li>学校や家庭などで自由に視聴できる教科書 QR コンテンツが充実しており、児童の理解を促し、興味・関心をもって学習に臨める工夫がされており、学習意欲の向上が期待できる。</li> </ul>	<p><b>全学年</b> 全教材を通して</p>

## 2 学習指導要領との関連

(1) 学習指導要領の目標に適合しているか。	第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。(小学校学習指導要領「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」)	
①道徳的諸価値についての理解に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領で育成が目指されている資質・能力の「<b>三つの柱</b>」をふまえ、道徳的価値に関するすべての内容項目を扱いつつ、重点とすべき内容項目については複数の教材が取り上げられている。特に道徳教育における現代的な課題を重視し、生命の尊重、自他の敬愛、郷土愛、国際理解などに関わる教材がしっかりと取り上げられている。</li> <li>巻頭オリエンテーションページの「<b>道徳のとびら</b>」で、学習内容やそのねらいなどを端的に示し、道徳的諸価値についての理解を促している。</li> </ul>	<p><b>全学年</b> 全教材を通して</p> <p><b>全学年</b> p.2、3 道徳のとびら</p>
②自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考えるための工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材の冒頭には<b>キーワード</b>を明示し、児童が道徳的価値と関連づけて思考を進めることができるように配慮されている。</li> <li>さまざまな人々の生き方を教材として取り上げることで、児童が自己を見つめ、人としての生き方について深く考えられるように配慮されている。</li> <li>「ぐっと深める」では、写真で対話的・協働的な学習場面が例示されており、児童が多面的・多角的に学習に取り組む際の参考にできるよう配慮されている。</li> <li>別冊の「<b>道徳ノート</b>」には、自由記述欄が設けられ、その「使い方」として友達の意見が記入できることにも触れられており、多面的・多角的な学習を促している。</li> </ul>	<p><b>全学年</b> 全教材を通して</p> <p><b>2年</b> p.34 虫が大きい - アンリ・ファーブル -</p> <p><b>3年</b> p.116 水族館ではたらく p.128 いちばんうれしいこと</p> <p><b>6年</b> p.6 それじゃ、ダメじゃん など</p> <p><b>全学年</b> ぐっと深める</p> <p><b>全学年</b> 道徳ノート</p>

教科書検討の観点	「小学道徳 生きる力」の内容の特色	主な関連ページ
③道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるための構成となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材には、末尾に「考えてみよう」と「見つめよう・生かそう」の<b>2つの発問例</b>が設けられている。「<b>考えてみよう</b>」は、その教材のねらいに到達するための発問例で、この発問をもとに考えることによってねらいとする道徳的判斷力、心情、実践意欲と態度を育てようとしている。</li> <li>「<b>見つめよう・生かそう</b>」は、授業で学んだことを「<b>これからの児童自身に生かしていく</b>」ための発問例で、この発問によって、特に道徳的判斷力や実践意欲と態度の育成が期待できる。</li> </ul>	<p><b>全学年</b> 全教材を通して</p> <p><b>全学年</b> 全教材を通して</p>
(2) <b>いじめの防止</b> に資することができるよう留意されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「<b>いじめの防止</b>」が最も重要なテーマとして位置付けられ、多面的・多角的な視点から考えられるよう複数の教材が用意され、重点化されている。</li> <li>「いじめの防止」に関わる教材をまとめて配置(ユニット)することで、学級の状況に応じた授業を展開できるよう工夫されている。どの教材がユニットとされているかは目次に一目でわかるように示されている。</li> <li>いじめの事象そのものの教材だけではなく、「個性の伸長」「相互理解、寛容」や「友情、信頼」などの内容項目で取り扱う教材の中から多様性への理解や人間関係などをテーマとした教材と組み合わせ、複数の教材を集中的に扱う構成(ユニット)とすることで、この問題に対する心情や態度の育成を図ろうとしている。</li> <li>いじめ防止をテーマとしたユニット「人との関わり」は、学期に一回、年間三回配置され、この問題をくり返し重点的に取り扱うことが示唆されている。</li> <li>ユニットは、教材と心のベンチを組み合わせ配置されていて、テーマに合わせて活動したり、多面的・多角的に考えたりすることで、より深い学びへと到達することができる。</li> </ul>	<p><b>1年</b> p.112 やめろよ p.116 ふたりだけで p.118 あなたってどんな人? p.122 わたしのすきな〇〇(心のベンチ)</p> <p><b>2年</b> p.124 ぐみの木と小鳥 p.128 ある日のくつばこで p.134 ふわふわ ちくちく(心のベンチ)</p> <p><b>3年</b> p.86 同じなかまたちから p.92 心の声に耳をかたむけて(心のベンチ)</p> <p>p.94 たからさがし</p> <p><b>4年</b> p.90 遠足の朝 p.94 なくそう! いじめ(心のベンチ)</p> <p>p.96 いじりといじめ</p> <p><b>5年</b> p.72 真由、班長になる p.76 名前のない手紙 p.80 いじめは止められる!(心のベンチ)</p> <p>p.82 折れたタワー</p> <p><b>6年</b> p.132 二十五人でつないだ金メダル</p> <p>p.138 ブランコ乗りとピエロ p.142 わたしのせいじゃない p.176 みんな、自由。みんな、平等。(心のベンチ) など</p>
(3) 「 <b>考える道徳</b> 」「 <b>議論する道徳</b> 」の趣旨をふまえた教材になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭オリエンテーションページの「道徳の学び方」では学習方法が解説され、学習の支援になるよう配慮されている。学習方法は、「①気づく」→「②考える・深める」→「③見つめる・生かす」と示され、特に「②考える・深める」では、話し合い活動が具体的に写真で提示されている。また、掲載の教科書 QR コンテンツから、さらに詳しい具体例を示した動画が視聴でき、「考える道徳」「議論する道徳」が<b>視覚的に捉えられるよう</b>工夫されている。</li> <li>結論ありきではない、児童が<b>自ら考えたい教材</b>が開発されている。</li> </ul>	<p><b>全学年</b> p.4、5 道徳の学び方</p> <p><b>全学年</b> 教科書 QR コンテンツ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合ってみよう</li> <li>動いてみよう</li> <li>書いてみよう</li> </ul>
(4) <b>主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)</b> への配慮「 <b>問題解決的な学習</b> 」「 <b>道徳的行為に関する体験的な学習</b> 」について適切な配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が主体的に道徳的価値について考えられる問題解決的な学習や、体験を生かして学ぶ体験的な学習、多様な実践活動を生かした学習を融合的に取り入れ、いきいきとした授業を展開できるような教材が用意されている。これらの教材に続いて「ぐっと深める」を示し、学びと指導の参考例として活用できるよう配慮されている。</li> </ul>	<p><b>全学年</b> 「ぐっと深める」のある教材</p>

# 教科書検討の観点から見た内容の特色③



教科書検討の観点	「小学道徳 生きる力」の内容の特色	主な関連ページ
(4) 主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）への配慮 「問題解決的な学習」「道徳的行為に関する体験的な学習」について適切な配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●問題解決的な学習……問題解決的な学習方法を用いると効果的と考えられる教材には、教材のあとに「ぐっと深める」を挿入して、問題をつかむ活動や考える活動を促す発問などが示され、児童の思考と対話を促した上で学習の参考となるよう配慮されている。</li> <li>●道徳的行為に関する体験的な学習……特に体験的な学習を取り入れることが効果的と考えられる教材には、教材のあとに「ぐっと深める」が挿入され、具体的な活動例や留意点などが示されている。役割演技や動作化の写真をふんだんに提示し、児童の配置や必要な小道具、配慮事項などが具体的に示されているため、実際の授業場面で大いに参考にすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年 p.112 やめろよ</li> <li>2年 p.24 ーりん車</li> <li>3年 p.102 お母さんのせいきゅう書</li> <li>4年 p.152 「まっ、いいか」でいいのかな</li> <li>5年 p.158 これって不公平？</li> <li>6年 p.142 わたしのせいじゃない など</li> </ul>
(5) 児童が深く考えることができ、人間としてのよりよく生きる喜びや勇気与えられる教材になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各巻とも、魅力のある教材がふんだんに取り上げられ、児童の興味・関心を引きつけるだけでなく、人間であれば誰もがもっている弱さと、それを乗り越えようとする強さや気高さについて考えることができる教材が掲載されている。児童が登場人物の生き方に深く共感し、誇りある生き方や夢や希望のある生き方を考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年 p.76 うまくなりたけれど</li> <li>4年 p.68 マルガレーテ・シュタイフーティペアを作った人のび太に学ぼう</li> <li>5年 p.6 かげのでんわ</li> <li>6年 p.86 生きることあきらめない</li> <li>p.168 ゴゴ 九十四歳の小学生 など</li> </ul>
(6) 多面的・多角的な学習への配慮 多様な見方や考え方ができる事柄を扱う場合は、特定の見方や考え方に偏ることなく児童の発達段階に即して多面的・多角的に考えられるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多面的・多角的な見方や考え方の育成については、次のような配慮がなされている。</li> <li>①友達の意見を聞く姿勢……オリエンテーションや手引きのページに掲げた児童の学習場面、特に自分で深く考える場面や、二人、あるいはグループで話し合う場面の写真を手掛かりに、協動的な学びの重要さが示されている。教科書 QR コンテンツでは、より詳しく動画で解説されている。</li> <li>②心のベンチ……本教材とは異なった角度から問題を考える素材が例示されており、児童の見方や考え方を広げることができるよう配慮されている。</li> <li>③自分とは異なる意見を記録する活動……別冊の「道徳ノート」には、自由記述欄が設けられ、巻頭の「道徳ノートの使い方」には友達の意見の記入ができることにも触れられており、多様な考えを尊重する姿勢の大切さが示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年 p.4, 5 道徳の学び方</li> <li>1年 p.42 せかいのおはよう</li> <li>2年 p.102 「ありがとう」をつたえよう</li> <li>3年 p.136 さいがいそなえて</li> <li>4年 p.128 自分をホメホメ大作戦</li> <li>5年 p.152 親しき中にもマナーあり</li> <li>6年 p.176 みんな、自由。みんな、平等。 など</li> </ul>
(7) 児童が主体的に道徳性を養うための指導への配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童の考えを引き出すために、次のような紙面づくりがおこなわれている。</li> <li>●発問の流れ……導入部から展開後段まで、児童の思考の流れに沿った発問が設定され、自発的な思考を引き出す配慮がなされている。</li> <li>①導入のための発問例……教材の冒頭に、教材に入り込むきっかけとなる発問例が掲載されている。</li> <li>②「考えてみよう」……教材のねらいに迫るヒントとなる発問例が示されている。</li> <li>③「見つめよう・生かそう」……学習を通して学んだこと、わかったことを自発的に確かめ、これからの児童自身の生き方に生かしていくための発問例が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年 全教材を通して ※キャラクターは各巻とも「道徳のとびら」で紹介されている。</li> </ul>

教科書検討の観点	「小学道徳 生きる力」の内容の特色	主な関連ページ
(7) 児童が主体的に道徳性を養うための指導への配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャラクター……教科書全体を通して児童の主体的な学びのガイドとして、「ココロウ」や児童キャラクターを設定。前記の発問の、導入のための発問例は「ココロウ」が担当し、児童の目線で疑問に思ったこと、やってみたいと思うことの投げかけや、前記の発問の、②と③は4人の児童キャラクターが担当している。</li> </ul>	
(8) 多様な考えを生かすために、言語活動充実への配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●協動的な学びを重視する観点から、ペアトークやグループトークの学習形態が各所で示唆されており、話すことや聞くことを大切にしようとする編集がなされている。</li> <li>●別冊「道徳ノート」が用意されており、考える、話す、聞く、書く、それぞれの活動が促されている。道徳科の時間における児童の道徳性の成長の様子や学習状況を継続的に把握でき、指導や評価の参考にできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年 道徳の学び方</li> <li>ぐっと深める</li> <li>道徳ノート</li> </ul>
(9) 内容の程度 発達の段階を考慮し、児童の興味・関心に適合したものであるか。 また、校種間連携に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童の発達の段階を考慮した内容であり、1年間、及び6年間を通じた系統性が確保されており、その前後に続く校種間連携にも配慮されている。</li> <li>●1年……「保・幼、小」の連携に配慮し、「スタートカリキュラム」を意識した内容となっており、巻頭の目次、オリエンテーションはイラスト主体で児童が直感的に理解できるよう構成されている。また、「道徳ノート」への文字の記入は、2学期以降に配当された教材から始まるように配慮されている。</li> <li>●2年……学年の段階に応じて、基本的な生活習慣や規範意識が成長とともに身に付いてきたことをふまえ、ものごとの意味やよさを自主的に判断すること、また互いを認め合うとともに自己肯定感を育むことを意識した内容となっている。</li> <li>●3～4年……行動範囲や人間関係が広がり、活動的になるとともに、内省する心も育ってくる段階であることが考慮され、自他理解や周りの人々と協力し助け合うことを意識した内容になっている。</li> <li>●5～6年……中学校との接続を視野に、よりよく生きる喜びを実感し、国家・社会の一員としての自覚を育てることが意識された内容となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年 全教材を通して</li> <li>1年 表見返し 児童用もくじ</li> <li>p.2 どうとくのとびら</li> <li>「どうとくノート」 p.2～13</li> <li>2年 p.16 ぼんたとかんた</li> <li>p.74 りえさんのよいところ</li> <li>3年 p.26 きいてるかい オルタ</li> <li>p.30 さと子の落とし物</li> <li>4年 p.42 いのりの手</li> <li>p.124 つくればいいでしょ</li> <li>5年 p.6 のび太に学ぼう</li> <li>p.128 森の絵</li> <li>6年 p.42 ぼくたちの学校</li> <li>p.168 ゴゴ 九十四歳の小学生 など</li> </ul>
(10) 地域性への配慮 地域性を考慮し、内容に広がりをもった教材になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童にとって特に身近に感じられる、地域の特色を生かした地域教材の活用、開発にも配慮されている。北海道から九州・沖縄まで、全国各地の魅力的な素材が教材化されており、児童が興味をもって道徳科の学習に取り組むことが期待できる。また、素材の取り上げ方は、各地での教材開発の参考となるものである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年 p.104 ひむかかると（宮崎県）</li> <li>2年 p.58 花火にこめられたねがい（新潟県）</li> <li>3年 p.6 いのちのまつり ヌチヌグスージ（沖縄県）</li> <li>p.40 あこがれの人（岐阜県）</li> <li>p.142 これ、全部東京産（東京都）</li> <li>4年 p.100 お父さんのじまん（和歌山県）</li> <li>p.130 聞かせて、君の声を！（北海道）</li> <li>5年 p.132 「ありがとう」がつながる（兵庫県）</li> <li>6年 p.62 貝塚博士（千葉県） など</li> </ul>
(11) 家庭や地域社会との連携に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「道徳科」がどのような教科でどのような学習をするのか、またこの教科書でどのようなことを学ぶのかがオリエンテーションのページなどで保護者にメッセージ性をもって伝えられ、学校・家庭・地域の連携が示唆されている。</li> <li>●別冊「道徳ノート」には「おうちの人から」欄も学期ごとに用意されており、家庭との連携が配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年 p.2 道徳のとびら</li> <li>全学年 p.4 道徳の学び方</li> <li>全学年 道徳ノート</li> </ul>

# 教科書検討の観点から見た内容の特色④



教科書検討の観点	「小学道徳 生きる力」の内容の特色	主な関連ページ
(12) 他教科等との関連 道徳の学習を核に、他教科等への広がりや考慮した扱いになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●他教科等との関連をはかるだけでなく、他教科等の学習活動そのものを素材とした教材が開発・掲載されている。道徳科には、各教科等における道徳教育で、道徳的価値の相互関連や全体的なつながりなどが必ずしも十分に確保できなかった場合、これを捉え直したり、発展させたりすることが期待されているが、他教科と直結した教材と接することで、この役割を効果的に実現することができる。</li> <li>●特別活動等の多様な実践活動を生かした学習……「ぐっと深める」には、特別活動等での多様な実践活動や体験活動を生かした学習の展開例を記したページがあり、児童の体験をもとに思考を深められるよう工夫されている。</li> </ul>	<p>【国語科 書写】 3年 p.76 うまくなりたけれど 【社会科】 3年 p.12 もっと調べたかったから 【算数科】 2年 p.112 なんでも 【生活科】 1年 p.134 ハムスターの赤ちゃん 【音楽科】 5年 p.60 和太鼓調べ 【図画工作科】 1年 p.54 よいことかなどうかな(心のベンチ) 4年 p.170 浮世絵-海をわたったジャパンプルー-</p> <p>【体育科】 3年 p.138 ぼくのボールだ 6年 p.132 二十五人でつないだ金メダル 【総合的な学習の時間】 4年 p.18 プルラッシュ 【委員会活動】 2年 p.12 本がかりさん がんばっているね 5年 p.20 やさしいユウちゃん など</p>
(13) 現代的な課題の題材の取り扱い ①いじめの防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代の多様な諸課題に対して、配慮が行き届いている。</li> <li>●いじめの防止は最重要テーマの一つとして多岐にわたる工夫が施されている。</li> </ul>	前記2. (2)「いじめの防止」.(本書 p.40)を参照してください。
②安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「防災」・「防犯」・「交通安全」の観点から構成されている。低学年から高学年にかけての児童の活動範囲の広がりに対応した教材が選定されている。</li> <li>●特に防災については、東日本大震災以降、防災・安全教育への関心や必要性がますます高まっていることをふまえ、一人ひとりの安全を確保するための知識・能力を向上させることがますます重要になっていることから、東日本大震災だけでなく、阪神・淡路大震災などについても多くの題材を掲載し、関心を高めようとしている。</li> </ul>	<p>1年 p.124 休みじかん 2年 p.62 あぶないよ 3年 p.132 助かった命 p.136 さいがいにそなえて(心のベンチ) 4年 p.80 ほんとうに上手な乗り方とは 5年 p.132 「ありがとう」がつながる p.154 ながらって…… 6年 p.42 ぼくたちの学校 p.120 自分を守る力って? など</p>
③情報活用能力の育成・情報モラルの習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報社会の倫理や、法の理解と遵守を中心に「自由と責任」・「節度、節制」・「情報のすれ違い」などの観点から取り上げられている。</li> <li>●低学年では日常の経験の中から情報(言葉)の意味や影響を考えさせる教材が選ばれ、中学年以降で実際の通信機器に関わった教材が配置されるなど、発達段階に応じた配慮がされている。</li> <li>●高学年では、情報社会の倫理や情報セキュリティ等に関わる内容を考えさせようとする教材も掲載されており、情報モラルについてよく理解させられる内容となっている。</li> <li>●全学年に情報モラルを扱った教材がコラム「心のベンチ」と組み合わせ掲載されており、情報活用能力を育むことができるようになっている。</li> <li>●以上のような取り組みは、プログラミング教育の「知識及び技能」の習得につながり、かつ情報活用能力の育成にも資するものとなっている。</li> </ul>	<p>1年 p.50 ひつじかいのこども 2年 p.98 おばあちゃん お元気ですか 3年 p.44 きまりはだれのため? p.48 ゲームがやめられない(心のベンチ) 4年 p.74 交流学习の前に 5年 p.68 のりづけされた詩 p.142 すれちがい p.152 親しき中にもマナーあり(心のベンチ) 6年 p.36 カスミと携帯電話 p.40 めがせ!情報モラルの達人(心のベンチ) など</p>

教科書検討の観点	「小学道徳 生きる力」の内容の特色	主な関連ページ
④社会の持続可能な発展(ESD、SDGs)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会の持続可能な発展をめぐるのは、環境、貧困、人権、平和、開発等さまざまな問題があり、それぞれ多様な道徳的価値に関わる葛藤があるが、学年での発達の段階に配慮しつつ、教材が適切に配置されている。</li> <li>●巻末の「見つけた!ここにも道徳」「SDGsで考えよう(3~6年に設定)」では、道徳科の授業で学んだことを、身近な生活とつなげて考えたり、持続可能な社会の実現に必要なことを考えたりすることができるよう工夫されている。</li> <li>●また、これらの諸課題には多様な見方・考え方があり、児童に話し合い活動を促すなど、一面的な理解に陥らないように配慮されている。</li> </ul>	<p>全学年 巻末 見つけた!ここにも道徳 3年 ~ 6年 巻末 SDGsで考えよう 1年 p.100 おおひとやま 2年 p.58 花火にこめられたねがい 3年 p.128 いちばんうれしいこと p.136 さいがいにそなえて(心のベンチ) 4年 p.130 聞かせて、君の声を! p.142 きれいな水(心のベンチ) 5年 p.36 ひとふみ十年 p.56 母さんの歌 p.112 わたしたちの未来を守るために(心のベンチ) 6年 p.32 緑の闘士-ワンガリ・マータイ- p.110 杉原千畝-大勢の人の命を守った外交官- p.114 平和に向けて-私たちが知り、つないでいく- など</p>
⑤伝統・文化教育、国際理解教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●伝統・文化教育、国際理解教育については、多くの教材を取り扱っている。また、それぞれの内容項目は、学年が上がるにつれて表現や要素が変化していくが、配置された教材はその変化に適切に対応しており、それぞれの学年でのねらいが容易に達成できるように配慮されている。</li> </ul>	前記1.【第五号】の項(本書 p.38)を参照してください。
⑥その他の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャリア教育や消費者教育等、さまざまな現代的な諸課題について、それぞれ本教材や「心のベンチ」で適切に取り扱われている。</li> </ul>	<p>【環境】 4年 p.130 聞かせて、君の声を! 6年 p.32 緑の闘士-ワンガリ・マータイ- など</p> <p>【キャリア教育】 2年 p.12 本がかりさん がんばっているね 3年 p.116 水族館ではたらく 6年 p.50 ウイルスとの戦い-父にエールを- など</p> <p>【法教育】 3年 p.112 まどガラスと魚 6年 p.158 消えた本 など</p> <p>【消費者教育】 4年 p.26 さち子のえがお 5年 p.100 流行おくれ など</p> <p>【福祉】 1年 p.96 学校のかえりみち 5年 p.92 ヘレンと共に-アニー・サリバン- など</p> <p>各学年巻末「学習内容一覧」のテーマ欄を参照してください。</p>

## 教科書検討の観点から見た内容の特色⑤



教科書検討の観点	「小学道徳 生きる力」の内容の特色	主な関連ページ
(14) 多様な教材が扱われているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」「情報化への対応」などの多様な教材が扱われている。</li> <li>●「<b>生命の尊厳</b>」に関わる教材では、生命あるすべてのものをかけがえないものとして尊重するという姿勢が貫かれており、児童が発達の段階に応じて生命の尊厳について考えられるようになっている。</li> <li>●「<b>先人の伝記</b>」に関わる教材では、多様な生き方が紹介され、生きる勇気や知恵などを感じられるとともに、人間としての弱さを見せる姿なども表現され、生きることのよさや意味などについて深く考えられるようになっている。</li> <li>●「<b>スポーツ</b>」については、世界を舞台に活躍する選手やそれを支える人々の公正な態度や礼儀、連帯精神、チャレンジ精神や力強い生き方や苦しみなどを考えさせる教材が選ばれており、道徳的価値の理解や、それに基づいた自己を見つめる学習を進めることができる。</li> <li>●「<b>自然</b>」は2.(13)④(本書 p.44)、「<b>伝統と文化</b>」は2.(13)⑤(本書 p.44)、「<b>情報化への対応</b>」は2.(13)③(本書 p.45)を参照してください。</li> </ul>	<b>【生命の尊厳】</b> <b>1年</b> p.28 うまれたてのいのち <b>2年</b> p.152 生きているから <b>3年</b> p.6 いのちのまつり ヌチヌグスージ <b>4年</b> p.30 あなたの時間にいのちをふきこめば <b>5年</b> p.24 「命」 <b>6年</b> p.18 命のアサガオ など <b>【先人の伝記】</b> <b>2年</b> p.34 虫が大すき -アンリ・ファールブル- <b>4年</b> p.68 マルガレーテ・シュタイフ -ディベアを作った人- お父さんのじまん p.100 <b>5年</b> p.124 ミスタートルネード 藤田哲也 <b>6年</b> p.110 杉原千畝-大勢の人の命を守った外交官- など <b>【スポーツ】</b> <b>5年</b> p.28 ソフトボールに恩返しを -上野由岐子- <b>6年</b> p.132 二十五人でつないだ金メダル p.162 アスリートの言葉 など <b>【全学年】</b> 全教材を通して <b>【全学年】</b> 各教材の二次元コードから参照 <b>【全学年】</b> 全教材を通して
(15) 児童の興味・関心を引き出し、持続させる工夫はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文学作品、スポーツ選手、芸術家など幅広いテーマが教材として取り上げられているとともに、児童に身近な生活場面なども取り上げられ、児童の興味・関心を引き出すよう工夫されている。</li> <li>●全学年、全教材に<b>教科書QRコンテンツ</b>が用意されており、教材に関連した画像や動画などを閲覧することにより、児童が興味・関心を高めながら学習をすすめられるように配慮されている。</li> <li>●発達の段階に合わせ、各学年、各教材の文章量が適切である。また、必要な箇所に必要な挿絵が掲載されている。</li> </ul>	

## 3 構成・配列

(1) 児童の発達の段階に即した道徳性を育成するために、教材が系統的に配列されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発達の段階への配慮とともに、生活目標や学校行事、他教科等の学習内容、伝統的な行事の実施時期などとの関係を考慮して教材が配列され、教育活動全体を貫く「要」としての道徳科の特質を生かせるように配慮されている。</li> <li>●学年ごとに、児童や学級の実状をふまえ、1学期には学級づくりや学校生活・集団生活の充実(低学年)、オリエンテーションやよりよい人間関係の形成(3~6年)、3学期には振り返り、深化、発展(次学年や中学校段階との連携を含む)を意識した内容項目や教材が配置されている。</li> </ul>	<b>【全学年】</b> 全教材を通して
(2) 内容項目の分量が適切に配分されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習指導要領の内容項目が過不足なくおさえられているとともに、重点項目は複数の教材が掲載されている。</li> <li>●各学年とも35(1年は34)の主教材のほかに、「ふろく」として3教材を収めており、自主学習に役立てることができる。</li> <li>●詳しくは、本書 p.36~37「内容項目別教材一覧」を参照してください。</li> </ul>	<b>【全学年】</b> 全教材を通して
(3) 学習のねらいが明確に示され、問題解決的な学習など多様な方法に取り組めるよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各教材にはすべて内容項目を児童向けの言葉にした「キーワード」が記載され、また、道徳的価値、または教材に関わる導入の発問例が示されているため、児童が見通しをもって学習することができる。</li> <li>●前記2.(4)(12)に記されたように、問題解決的な学習や体験的な活動を用いた学習、特別活動等の多様な実践活動を生かした学習への手厚い配慮が施されている。</li> </ul>	<b>【全学年】</b> 全教材を通して <b>【全学年】</b> 各5教材(1年は6教材)

教科書検討の観点	「小学道徳 生きる力」の内容の特色	主な関連ページ
(4) 授業準備に関わる負担に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前記2.(7)に記された3つの発問例は、児童の自発的な考えを引き出すとともに、授業者が授業の流れを見通すのに有用である。</li> <li>●各学年の別冊「道徳ノート」は、授業者を<b>ワークシート作成の負担から解放</b>するとともに、学年での情報共有にも役立つものになっており、授業前後における負担の軽減につながるものとなっている。</li> </ul>	<b>【全学年】</b> 全教材を通して 道徳ノート

## 4 正確性及び表記・表現

(1) 児童の発達段階に応じた活字の大きさ・文字数・文章表現等がなされ、平易で理解されやすいように工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●漢字は、原則として当該学年の配当漢字までが使用され、当該学年以上の漢字やキーワード、固有名詞等の漢字には、すべてにふりがながつけられ、読みやすくなるよう配慮されている。</li> <li>●脚注欄では、やや難解な語句の解説や、教材の読み取りのために必要な補足説明がいていねいになされている。</li> </ul>	<b>【全学年】</b> 全教材を通して
--	--	----------------------

## 5 造本

(1) 特別支援教育の観点、ユニバーサルデザイン(UD)への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援教育への配慮や<b>カラーユニバーサルデザイン</b>の観点から、大内進先生(星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員)による校閲のもと作成されている。</li> <li>●カラーユニバーサルデザインへの配慮 一人ひとりの色覚の違いを問わず、多くの児童に見やすいように、レイアウトは、色調や色の組み合わせに細部まで配慮されている。</li> <li>●教材の本文にユニバーサルデザインフォントを使用し、読みづらさが子どもたちの学習の妨げにならないよう配慮されている。</li> <li>●読み取りやすさに配慮された教科書 スムーズに読み進められるように、1、2年生の本文は、読みやすいためとまりで改行している。また、教材冒頭にリード文を示したり、主な登場人物を整理して配置したりするなどして、教材をできるだけ読み取りやすくするための配慮がされている。</li> <li>●全教材見開き構成 教材はすべて見開き単位で構成され、前後の教材に気をとられることなく、児童が集中しやすくなっている。</li> </ul>	<b>【全学年】</b> 全教材を通して
(2) 印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境への配慮……教科書の表紙には、従来よりも工夫された表面加工が施され、化学物質に過敏な児童に少しでもやさしいものになるよう配慮されている。また、再生紙が使用されるとともに、印刷においては植物油インキが使用されている。鮮明で読み取りやすく、環境にもやさしい本である。</li> <li>●判型の工夫……<b>大きな判型(AB判)</b>が採用されていることにより、さらに迫力のあるページ構成となっている。また、いきいきと学習に取り組む児童の姿を、写真資料としてレイアウトに工夫を凝らして掲載し、児童の学習意欲を喚起しようとしている。</li> <li>●装丁の工夫……表紙は美しく丈夫な表面加工を施しているが、氏名欄だけは名前を記入しやすいように加工を除くといった細心の配慮が施されている。また、ノートには表にも裏にも名前欄が設けられ、ノートを集めたり配ったりする際にもストレスのないよう工夫されている。</li> <li>●堅牢で使いやすい造本……製本は通常の無線綴じよりも丈夫なあじろ綴じが採用され、従来の針金綴じよりも本が大きく開くように改良している。</li> <li>●<b>軽量紙の使用</b>……大きな判型(AB判)の採用にともない、児童の負担をできるだけ軽減するため、通常の上質紙よりも軽い用紙が使用されている。</li> </ul>	<b>【全学年】</b> 全教材を通して